

太陽光発電 コンパス付き

LITHIUM & SOLAR / DUAL POWER WATCH

品質保証書 取扱説明書
GUARANTEE & INSTRUCTIONS

監製 サンフレイム



【機能】

- 時刻、日付、曜日の表示 ■アラーム機能 ■時報機能 ■ELライト
- ストップウォッチ機能
- リチウム電池（電池1個を内蔵）で動作しながら太陽光発電（ソーラー）を行うデュアルパワー方式
- 太陽光発電（ソーラー）の補助発電によって内蔵電池を補う省電力構造。充電式ではありません。室内蛍光灯等だけでは発電のための十分な光量が得られません。この場合、リチウム電池によって作動します。
- 5気圧防水（水の中又は水滴がついた状態でのボタン操作はしないでください。）

【太陽光発電（ソーラー）時計について】

- ・この太陽光発電（ソーラー）時計はリチウム電池を内蔵しています。通常リチウム電池の電力を使用して時計 / 機能を作動します。ソーラー発電は補助電力として状態によって作動しています。
- ◎ご注意…この製品の大太陽光発電（ソーラー）は、発電した電力を充電・蓄電する事はできません。

※ELライト・ストップウォッチ・アラーム機能を使用する為にはリチウム電池の電池容量が必要です。

※時計表示上部にある発電パネル部分に十分な光量が得られない場合（衣服や袖の下に隠れてしまう等）は、発電が出来ません。

※太陽光発電（ソーラー）は、晴天の屋外で発電パネルに太陽光が当たる場合は、ほぼ問題なく発電します。室内では光量不足で発電が出来ません。その場合に、リチウム電池の電池容量が不足していると時刻の表示が出来ません。

標準時刻表示



発電パネル



ボタン位置



【デジタル時計の見方】

- ・標準時刻表示では時 / 分 / 秒 / 曜日が表示されています。
- ・S1を押すと日付が表示されます。
- ・S2を押すとアラーム設定時刻が表示されます。
- ・S3を押すと表示モードが切り替えられます。

【デジタル時計のELライト】

- ※太陽光発電（ソーラー発電）だけではライト機能は使用できません。
- ・S4を押すとELライトが光ります。

ELライトは電気を多量に消耗します。必要最小限のご使用をお薦めします。

【デジタル時計の合わせ方】時刻 / 日付の設定

※時刻・日付の設定は下記の手順で行ってください。途中からの設定変更は出来ません。

- ①標準時刻表示の時にS3を3回押すと秒が点滅し、S1を押して00秒に合わせます。
- ②S2を押すと分が点滅し、S1で分を合わせます。
- ③S2を押すと時が点滅し、S1で時を合わせます。
S1を押し続けると12時間表示（午前：時刻表示の左にAM・下にAを表示 / 午後：時刻表示の左にPM・下にPを表示）と、24時間表示（時刻表示の下にHを表示）を繰り返します。
- ④S2を押すと日付が点滅し、S1で日付を合わせます。
- ⑤S2を押すと月が点滅し、S1で月を合わせます。
- ⑥S2を押すと曜日が点滅し、S1で曜日を合わせます。

最後にS3を押すと標準時刻表示にもどります。

【デジタル時計のアラーム設定方法】

※太陽光発電（ソーラー発電）だけではアラーム機能は使用できません。

- ①アラーム時刻の設定
標準時刻表示の時にS3を2回押すとアラーム時刻の時が点滅し、S1で時を合わせます。S2を押すとアラーム時刻の分が点滅し、S1で分を合わせます。S3を押すと標準時刻表示にもどります。
- ②アラームの設定
標準時刻表示の時にS2を押しながらS1を押すとアラームのON/OFF（設定 / 解除）ができます。
アラームが設定されているときは、ベル型のマークが表示されます。
- ③スヌーズ機能（再アラーム機能） / アラーム音の一時停止
S1を押すとアラームが一時的に止まります。
アラームは約5分後に再び鳴り出します。
- ④アラームの解除
標準時刻表示の時にS2を押しながらS1を押します。アラーム機能を解除した時、ベル型のマークは表示しません。

【時報機能 ON/OFF の設定方法】 ※時報の時刻設定は出来ません。

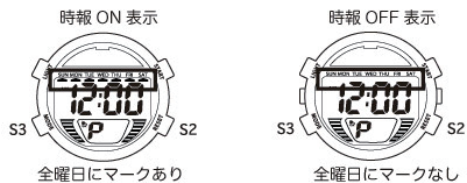
時報設定がONの時、毎正時にチャイムが鳴ります。

時報設定のON/OFF確認を、S2ボタンを押して確認します。

設定がONの場合→曜日マークが全表示されています。

設定がOFFの場合→曜日マークが何も表示されていません。

ON/OFF設定の切り替えは、S2ボタンを押した状態でS3ボタンを押してください。S3ボタンを押すごとに、曜日マークが全表示と表示無しに切り替わります。



【デジタル時計のストップウォッチ機能について】

※太陽光発電（ソーラー発電）だけではストップウォッチ機能は使用できません。

標準時刻表示の時にS3を1回押すとストップウォッチ機能になります。

ストップウォッチ機能には、2種類の計測が出来ます。

- ①計測操作 - その1
ストップウォッチ機能を表示した状態でS1でスタート / 計測開始、もう一度押すとストップ / 計測停止が出来ます。
計測を止めた状態でS2を押すとリセットされます。
最後にS3を押すと標準時刻表示にもどります。
- ②計測操作 - その2
ストップウォッチ機能を表示した状態でS1を押して計測をスタートします。
計測中にS2を押して途中経過時間を表示します。
その間もストップウォッチは計測されています。
そのままS2を押すと再び計測中の画面に戻ります。
S1を押して停止した後、記録を読みとります。
計測を停止した状態でS2を押すと計測前の状態にリセットされます。
S3を押すと標準時刻表示にもどります。

【コンパス（方位磁針）について】

方位を確認する時は、コンパスをベルトから外して水平にしてください。水平の状態で矢印（N=北）の向きを確認します。

矢印（N）が示している方向が北です。他の方位は以下の通りです。

E=東 S=南 W=西
NE=北東 SE=南東 SW=南西 NW=北西



方位磁針を水平にする



- 地図を見る時は地図の北を矢印に合わせて、方角を確認します。
- テレビ・パソコン機器・携帯電話・スチールデスク・車内・高圧線などの側での使用はお避けください。
電気製品・鉄製品・高圧電線などの側では静電気・磁気・電磁波などの影響を受けやすい為、正しい方位を指さない場合があります。
ご使用前にご確認ください。
- コンパスを使用する際は、ベルトから外してください。
腕に付けた状態、またはベルトに付いた状態では、水平にしているつもりでも傾いている場合があります。
その場合、正しい方位を指しません。
- コンパスをご使用する時点で、すでに他の物の磁気や静電気の影響で磁針が傾いていたり正確な方位を指さなくなっている場合があります。
故障ではありませんので、鉄やマグネットなどの磁気の影響の無い場所で水平に置いて、しばらく放置しておくことで正常な状態に戻ります。
- 気泡が入っている場合がありますが、機能上は問題ありません。
- 寒冷期などの湿度が低い乾燥した季節は、静電気を帯やすく磁針が正確な方向を指さず動かなくなる場合があります。その場合はコンパス全体を水で濡らすことで放電し磁針は正確に動くようになります。

製品仕様

- 平均月差±60秒以内 (適正使用温度範囲5°C~35°Cの場合)
- 使用温度範囲:5°C~35°C
- 電池寿命:新品電池を入れてから約2年 (電池のみで作動させた場合)
(1日にELライト2回/アラーム1回使用目安)

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

- 使用電池:リチウム電池 CR2025 x 1個
- 製造国:中国

防水機能について

- 本製品は5気圧防水です。
- ※注意:激しい水圧が掛かると水が入り故障の原因になる場合があります。

5気圧防水	一時的にかかる水滴 (洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
	○	×	×	×



ボタン操作のご注意

水中、または水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。